

# 田野町 循環型社会形成推進地域計画

田野町

平成 29 年 1 月 11 日

## 1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

### (1) 対象地域

対象市町村名 田野町

面積 6.53 km<sup>2</sup>

人口 2,841 人 (平成28年3月31日現在人口)

過疎地域に該当

※ 対象地域図 (資料として添付)

### (2) 計画期間

本計画は、平成29年4月1日から平成34年3月31日までの5年間を計画期間とする。

なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等をふまえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

### (3) 基本的な方向

本町では、平成27年度末において、浄化槽整備事業による処理区域内人口の49%が生活雑排水を未処理のまま集落内、農業用水路を通じて、河川等に排出しているのが現状である。近年、生活排水による水質悪化が進み、水環境に悪影響を与えるようになってきている。

また、奈半利川流域には、本町の簡易水道の水源地があり、上流の北川村、隣接の奈半利町にも奈半利川の伏流水に依存している水源地がある。

このようなことから、生活排水を適切に処理することが重要となっており、町民に対し、水源地域としての生活排水対策の必要性等について、啓発を行うとともに、生活排水処理の目標については、昔ながらの澄んだ川となるよう奈半利川流域の関係町村が、この流域の水質保全を図ることが肝要である。

生活排水対策の基本として、水の適正利用に関する普及啓発とともに、生活排水の処理施設を逐次整備していくこととしている。

① 田野町全域で浄化槽設置整備事業による浄化槽整備を進める。

② 既に単独処理浄化槽を設置している家庭については、生活雑排水の処理を進めるために、合併処理浄化槽への転換を指導し、また、今後の新築及び改築に際しては、合併処理浄化槽設置の指導を行う。

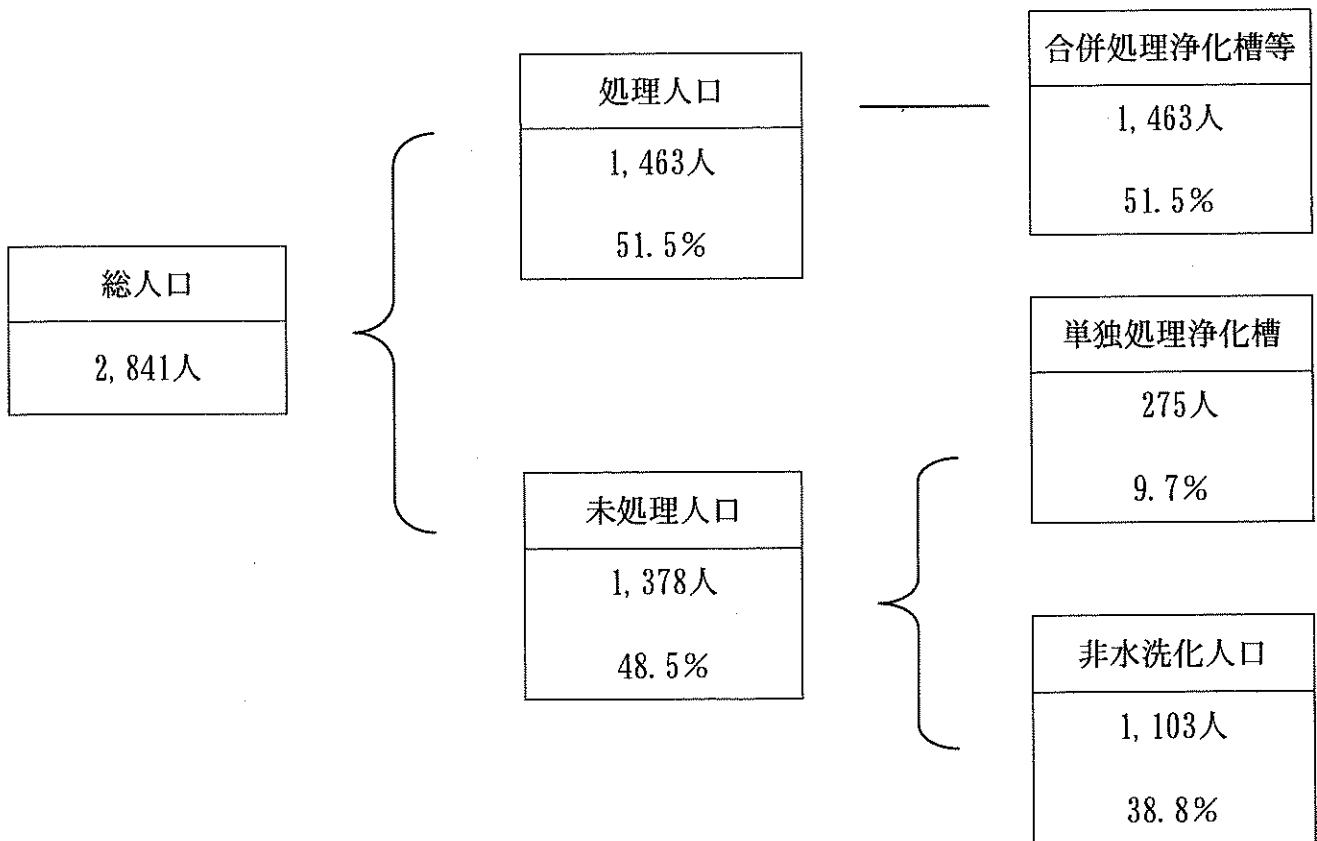
## 2. 循環型社会形成推進のための現状と目標

### (1) 生活排水の処理の現状

平成27年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥等の排出量は次のとおりである。

生活排水処理対象人口は、全体で2,841人であり、浄化槽処理人口は、1,463人、汚水衛生処理率51.5%である。

し尿発生量は1,292kL/年、浄化槽汚泥発生量は、1,293kL/年であり、処理・処分量(=収集・運搬量)は2,585kL/年である。



## (2) 生活排水処理の目標

(単位：人)

	平成27年度実績	平成33年度目標
総人口	2,841	2,319
合併処理浄化槽等	1,463 51.5%	1,682 72.5%
未処理人口	1,378 48.5%	637 27.5%

### 3. 施策の内容

#### (1) 地域の特性に応じた汚水処理施設の整備

比較的人口密集地域が多くあるため公共下水道の整備を推進すればよいが、過疎地であり少子高齢化問題や財政等の問題がある。地形などの自然条件、集落の形成など地域の特性を踏まえ浄化槽整備を行う。

#### (2) 浄化槽の整備

浄化槽設置整備事業により浄化槽の整備を進める。

#### (3) 単独処理浄化槽対策

単独処理浄化槽は汚濁負荷が高く、水質汚濁の要因となっていることから、既存の単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への転換を進める。

#### (4) 排出削減の推進

家庭等から排出される汚濁負荷量の削減のため、啓発活動の強化を図る。

- ・ 広報活動の実施
- ・ 廃油ポット、三角コーナーネット、拭取紙等の排出抑制用品の普及
- ・ 無リン洗剤、せっけんの使用

#### (5) し尿・汚泥処理

- ・ 搬入量の減少に伴う効率的な運転や搬入量に見合った整備
- ・ 汚泥等の資源化を促進するとともに、省エネルギー、再資源化を図る。
- ・ 浄化槽清掃・収集運搬業者に対し、適切な指導を行い、処理の適正化に努める。

#### (6) 最終処分場

- ・ し尿処理施設から発生する汚泥、焼却灰等の最終処分物は適正に中芸広域連合で処分する。

#### 4. 計画のフォローアップと事後評価

##### (1) 計画のフォローアップ

本町は、毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて高知県及び国と、意見交換をしつつ計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

##### (2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行いその結果が取りまとまった時点で、計画の事後評価や目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて計画を見直すものとする。

様式 1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 (平成 29 年度)

1 地域の概要

(1) 地域名	田野町	(2) 地域内人口	2,841人	(3) 地域面積	6.53km <sup>2</sup>
(4) 構成市町村等名		(5) 地域の要件*	人口 面積 沖縄 離島 奄美 豪雪 山村 半島 <u>過疎</u> その他		
(6) 構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	組合を構成する市町村： 設立されていない場合、今後の見通し：		設立(予定)年月日： 年 月 日設立、認可予定		

\* 交付要綱で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目全てに○を付ける。

2 生活排水処理の現状と目標

指標・単位	過去の状況・現状						目標
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成33年度
総人口	2,928	2,881	2,865	2,841	2,841	集計中	2,319
公 共 下 水 道	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率						
集 落 排 水 施 設 等	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率						
合 併 処 理 浄 化 槽 等	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	1,210 41.3%	1,302 45.2%	1,395 48.7%	1,415 49.8%	1,463 51.5%	集計中 1,682 72.5%
未 処 理 人 口	汚水衛生未処理人口	1,718	1,579	1,470	1,426	1,378	集計中 637

※ 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付のこと。(別紙参考を参照)

3 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容			整備予定基数の内容			備考
		基数	処理人口	開始年月	基数	処理人口	目標年次	
浄化槽設置整備事業	田野町	234	1463	H3.4	60	180	H33	

※ 計画地域内の施設の状況(現況、予定)を地図上に示したものを添付のこと。

様式2

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2(平成29年度)

事業種別	事業番号 ※1	事業主体 名称 ※2	規模	事業期間 交付期間		総事業費(千円)					交付対象事業費(千円)					備考		
				単位	開始	終了	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度		平成 33年度	
○浄化槽に関する事業						22,380	7,460	3,730	3,730	3,730	3,730	22,380	7,460	3,730	3,730	3,730	3,730	
浄化槽設置整備		田野町	60基	H29	H33	22,380	7,460	3,730	3,730	3,730	3,730	22,380	7,460	3,730	3,730	3,730	3,730	
浄化槽市町村整備推進						0						0						
○施設整備に関する計画支援に関する事業						0						0						
合計						22,380	7,460	3,730	3,730	3,730	3,730	22,380	7,460	3,730	3,730	3,730	3,730	

- ※1 事業番号については、計画本文3(3)表4に示す事業番号及び様式3の施設整備に関する事業番号と一致させること。また、様式3に示す施策のうち関連するものがあれば、合わせて番号を記入すること。
- ※2 広域連合、一部事務組合等については、欄外に構成する市町村を注記すること。
- ※3 実施しない事業の欄は削除して構わない。
- ※4 同一施設の整備であっても、交付金を受ける事業主体ごとに記載する。

## 施設概要（浄化槽系）

都道府県名 高知県

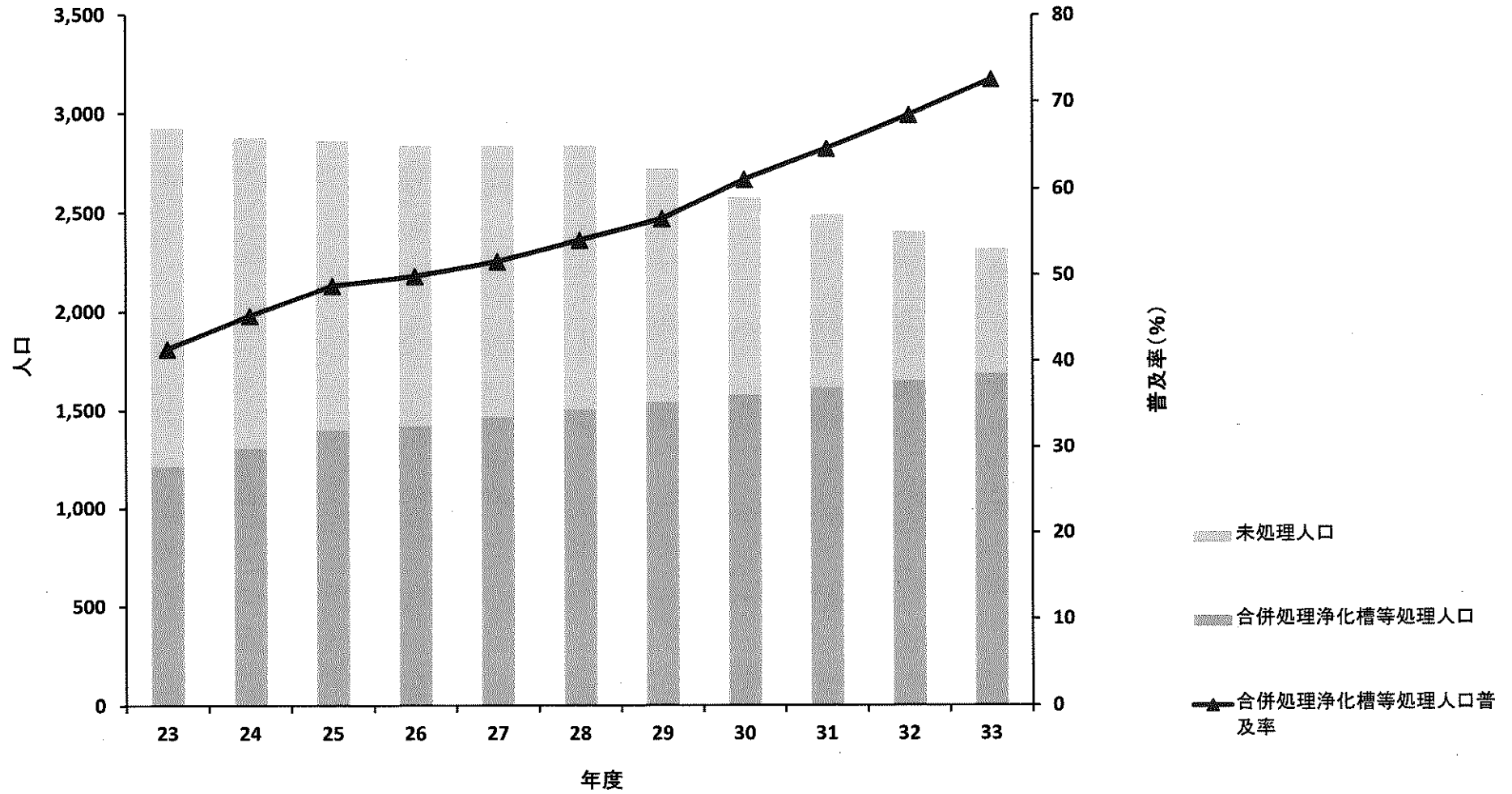
(1) 事業主体名	田野町
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	過疎地域であり、生活排水対策の基本として、水の適正利用に関する普及啓発を行っていくとともに、田野町全域を浄化槽設置整備事業による浄化槽整備を進める。
(4) 事業期間	29年度～ 33年度
(5) 事業対象地域の要件	ア（ウ）（カ）
(6) 事業計画額	交付対象事業費 22,380 千円 うち（以下の事業を実施する場合） ・環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業に係る事業費 千円 ・公的施設単独処理浄化槽集中転換事業に係る事業費 千円

## ○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

## 【浄化槽設置整備事業の場合】

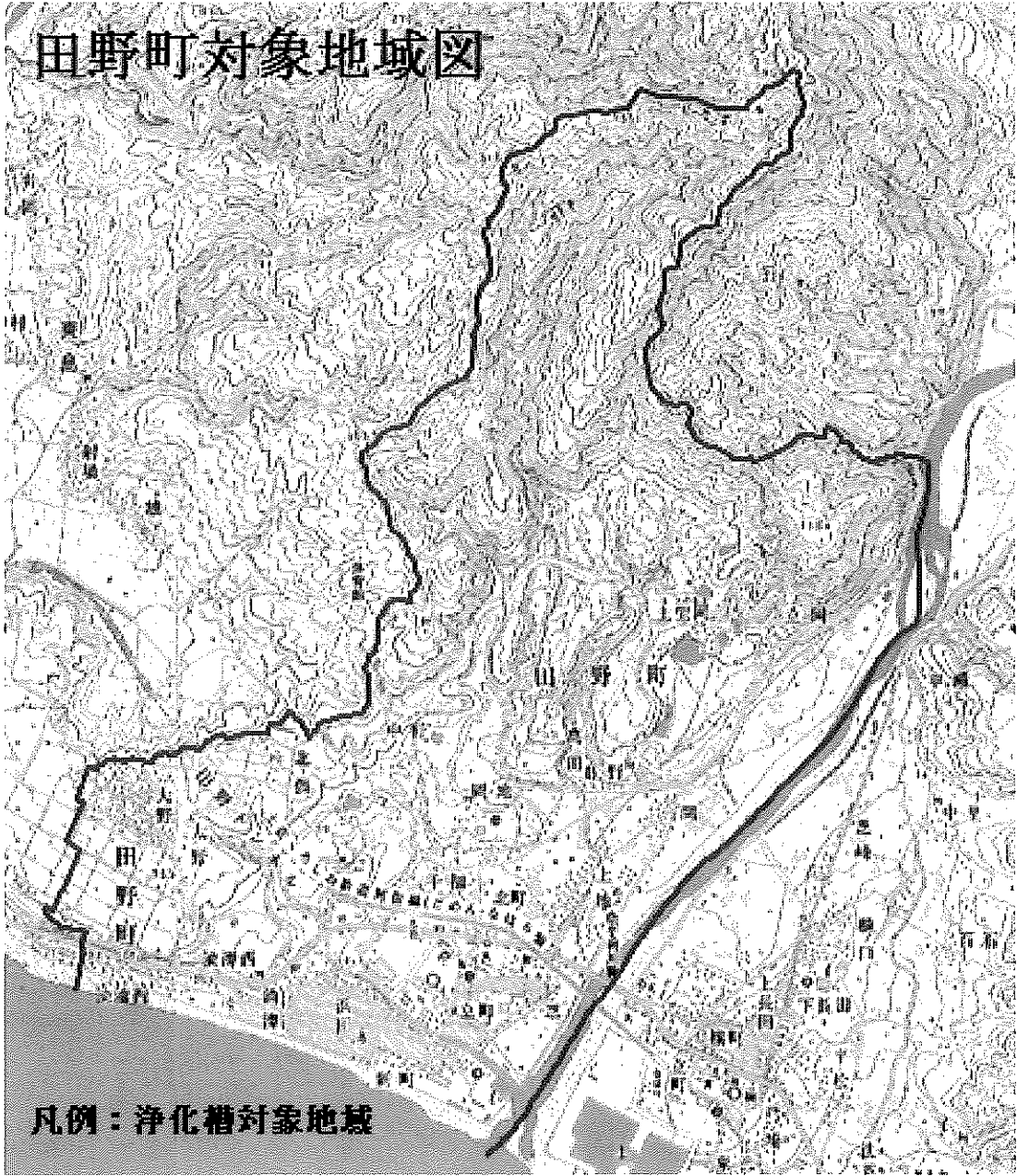
区分	交付対象基数 (180人分)	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5人槽	30基 (90人分)	基	9,960,000	9,960,000	9,960,000
6～7人槽	30基 (90人分)	基	12,420,000	12,420,000	12,420,000
8～10人槽	基 (人分)	基			
11～20人槽	基 (人分)	基			
21～30人槽	基 (人分)	基			
31～50人槽	基 (人分)	基			
51人槽以上	基 (人分)	基			
改築		基			
計画策定調査費					
合計	60基 (180人分) 改築を除く	基	22,380,000	22,380,000	22,380,000

# 生活排水処理の現状と目標





# 田野町対象地域図



凡例：浄化槽対象地域